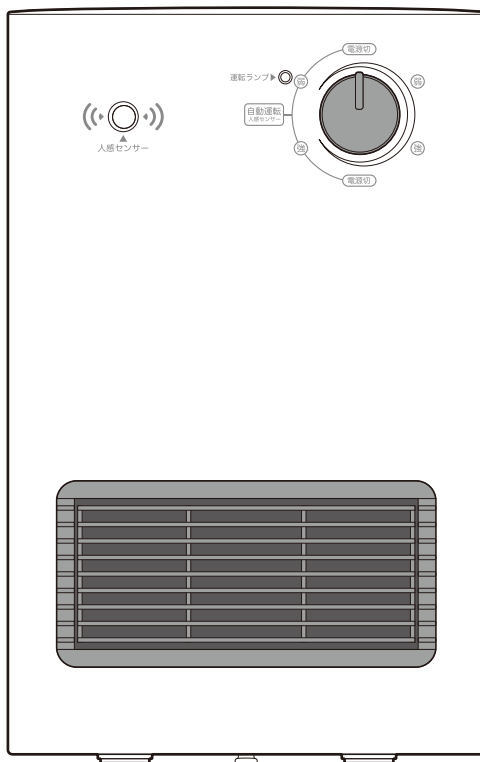


【人感センサー搭載】セラミックヒーター

エム・エイチ

商品型番：**MH-1200**



この度は「【人感センサー搭載】セラミックヒーター | MH-1200」
をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

※本商品は日本国内専用です。

目次

●パッケージ内容	2
●安全上のご注意	3~4
●各部のなまえ	5
●ご使用の前に	
設置について	6
■転倒時自動オフスイッチ	6
■安全装置	6
●ご使用方法	
運転する(連続運転)	7
停止する	7
■ヒーターの強弱を切り替える	7
■温風吹出口の向きを調整する	7
運転する(自動運転)	8
■人感センサーについて	8
●お手入れと保管方法	9
●故障かな?と思ったら	10
●主な仕様	11
●別売品について	11



パッケージ内容



※箱を開けたら以下の物が入っているか、必ず確認してください。





部 品 名	個数	部 品 名	個数
本 体	1	取扱説明書(保証書付き) 本書	1

※梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、保証書にある発売元までご連絡ください。

安全上のご注意

- 火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
「 警告」・「 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「 」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

警告

電源プラグは必ず、容量15A (1500W) 以上の家庭用コンセント交流100Vに単独で接続してください。
・タコ足配線などは、火災の原因になります。

修理技術者以外の方は、分解したり修理・改造をしないでください。
・火災、感電、ケガの原因になります。

子供を近づけないでください。子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。
・ケガや事故の原因になります。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。
・落下、衝撃、水ぬれをする場所は避け、子供の手の届かない場所に保管してください。
・高温になる場所や湿気やほこりの多い場所に放置、保管しないでください。動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
・絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
・絶縁劣化による火災、感電の原因になります。

高所や足下が不安定な場所では使用しないでください。
・転倒などによりケガや事故の原因になります。振動のない水平な場所で使用してください。

パソコン、精密機器の近くで使用しないでください。
・機器の故障を引き起こす場合があります。

本体を水につけたり、水をかけての丸洗いは絶対にしないでください。
・感電、火災、故障の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。
・本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。また、送風口に向かって吹きかけないでください。
・爆発や火災の原因になります。

電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。
・電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、損傷したものは使用しないでください。
・濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
・電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
・コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
・使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全上のご注意

警告

温風吹出口や吸気口にピンや針金などの異物を入れたり、ふさがないようにください。

- ・ケガや事故の原因になります。
- ・加熱による本体の変形、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

- ・本体の変形によるショート・発火の原因になります。

靴や衣類などの乾燥には使わないでください。

- ・衣類が本体に覆われたりして、故障や事故、火災の原因になります。

製品の上に物を置いたりしないでください。

- ・転倒によるケガや故障の原因になります。

運転中と運転直後の温風吹出口は、高温になっていますので、さわらないでください。

- ・やけどの原因になります。

お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤を使用しないでください。

- ・有毒物質が発生する原因になります。

使用中、本体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

- ・そのまま使用していると、事故の原因になります。
- ・破損や亀裂、変形があると、火災の原因になります。

注意

使用前に、本体や各部品に損傷がないか点検してください。また、誤って落としたり、ぶつけたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

- ・ほこりがたまる、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

お手入れは定期的に行ってください。

- ・「お手入れと保管方法」にしたがってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、火災や故障の原因になります。

異常時（こげ臭い、発煙など）は、電源プラグを抜き使用を停止してください。

- ・火災や感電の原因になります。

カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使用しないでください。

- ・火災ややけどの原因になります。

お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてからおこなってください。

- ・火災ややけどの原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。

- ・故障の原因になります。

運転中に吸気フィルターを取り外さないでください。

- ・本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、事故や故障の原因になります。

壁や家具の近くで使わないでください。

- ・熱で壁や家具が変形、変色したり火災の原因になります。

犬やネコなどのペット用暖房として、使用しないでください。

人感センサー部分が汚れていたり、直射日光が当たる場所で使わないでください。

- ・適切な感知範囲内(上下60° 左右60° 感知距離2m以内)でご使用ください。

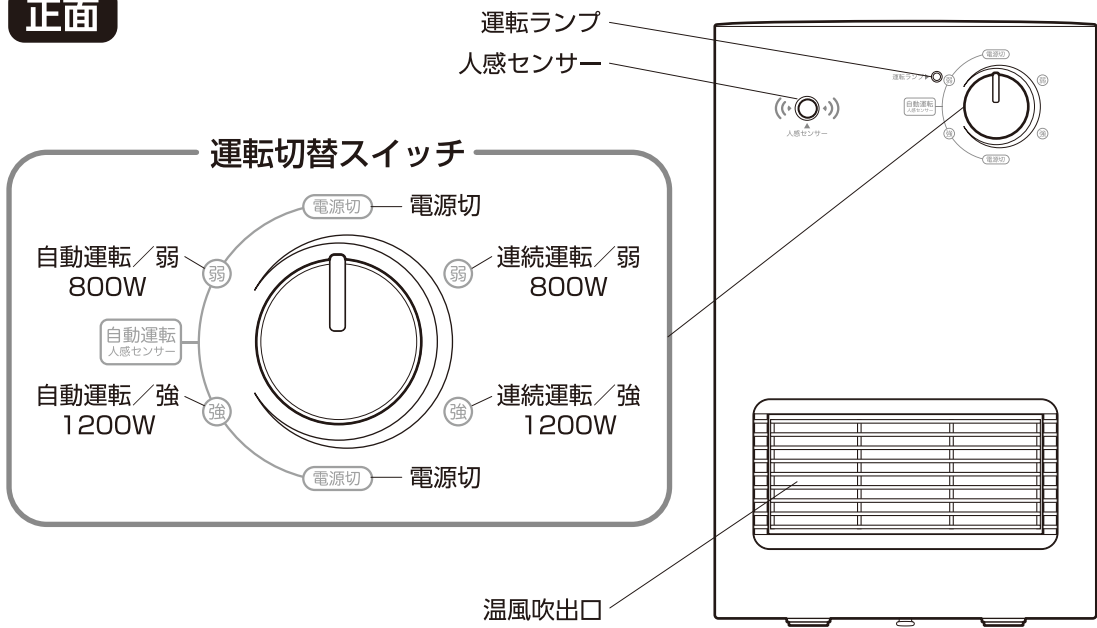
不安定な場所で使わないでください。

- ・安定した水平な場所に置かれていないと転倒時自動オフスイッチが働き、運転が停止します。

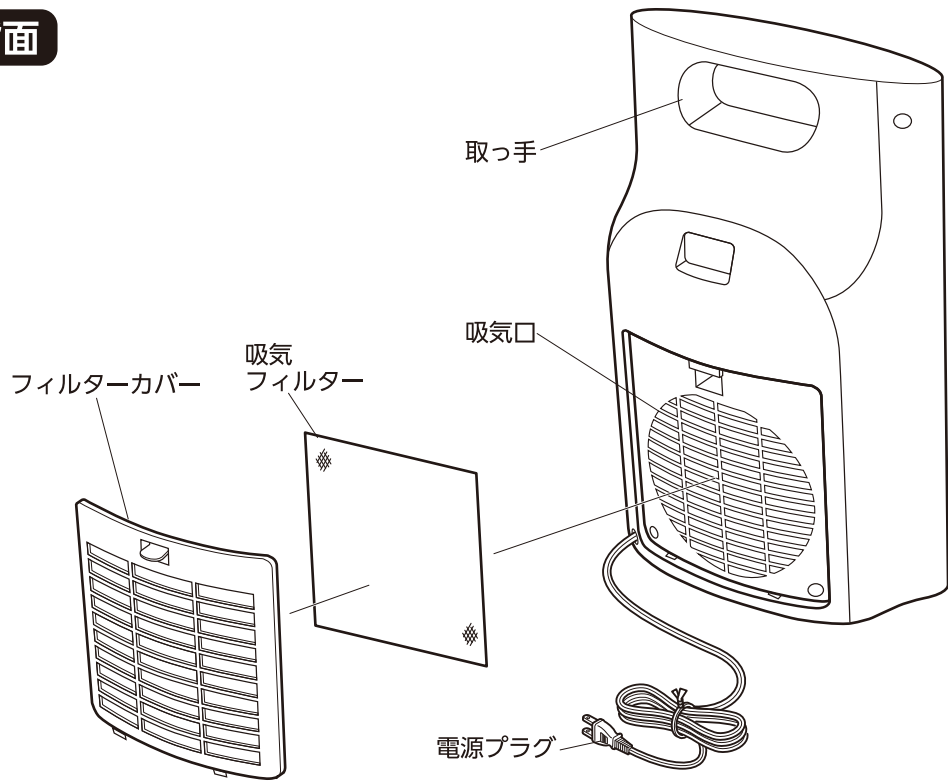
※お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われた時は、使用せずに保証書にある発売元・株式会社クマザキエムまでお問い合わせください。

各部のなまえ

正面



背面



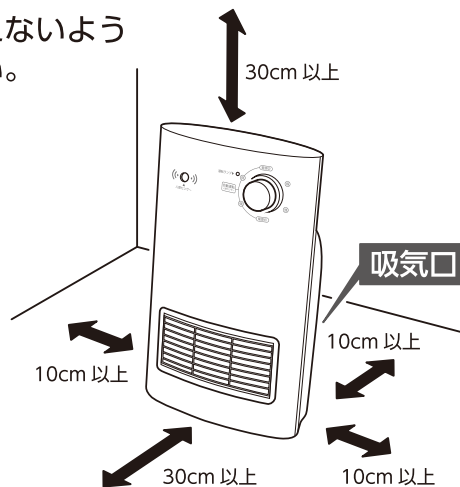
○ ご使用の前に

設置について

⚠ 注意 ●斜面や不安定な場所に設置すると転倒などの原因になりますので、必ず水平で安定している場所に設置してください。

本体背面の吸気口が、壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。

- カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。また、本体の上に物をかぶせないでください。
- ※ 極端に高温になる場所や、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- ※ 家具や電化製品、壁などに直接温風が当たるような場所に設置しないでください。
- ※ テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置すると、雑音などが入る場合がありますので、十分に距離をとって設置してください。



■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりした時に自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、本体を起こし、再度水平な床面に設置すると運転が再開します。

■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

- ※ 異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

⚠ 注意

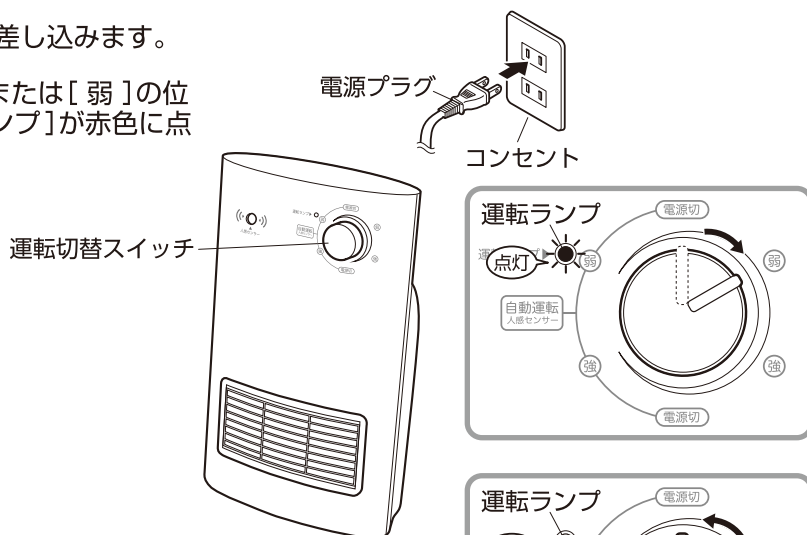
- 電源プラグは奥までしっかり差し込み、電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 運転中と運転直後の温風吹出口は高温になっていますので、さわらないでください。
- 運転中に吸気フィルターを取り外さないでください。
- 運転中は本体を移動させないでください。
- 電源プラグはコンセントから外れないよう、しっかりと確実に差し込んでください。
- 電源プラグは必ず、容量 15A (1500W) 以上の家庭用コンセント交流 100V に単独で接続してください。

※ 初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分の臭いがすることや、まれに少量の煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

○ ご使用方法

運転する(連続運転)

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ② 運転切替スイッチを[強]または[弱]の位置まで回します。[運転ランプ]が赤色に点灯し、運転を開始します。

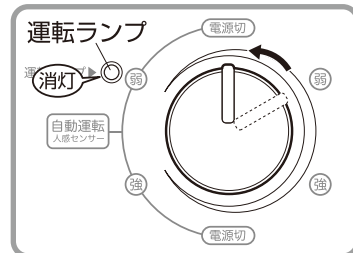


停止する

運転中に運転切替スイッチを[切]の位置まで回します。
[運転ランプ]が消灯し、運転が停止します。

👉 ポイント

電源を切った後は内部冷却のため、
約20秒間送風運転を行ないます。



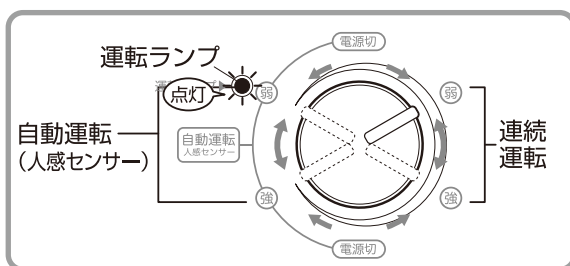
⚠️ 注意

- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に運転切替スイッチを[切]の位置まで回して本体を停止してください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

■ ヒーターの強弱を切り替える

運転切替スイッチを[強]または[弱]の位置まで回し、ヒーターの強弱を設定します。

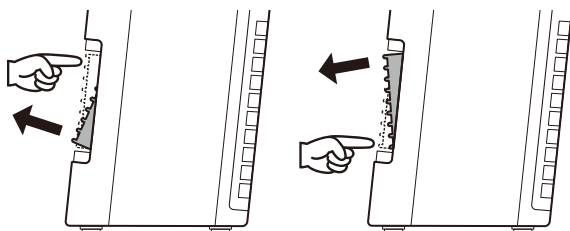
※ 強/弱のヒーター切替は発熱量を切り替えるものであり、温風の風量は変わりません。



■ 温風吹出口の向きを調整する

温風吹出口の向きを上下に調整する事が出来ます。
温風を当てたい方向に合わせて調整してください。

- 上に向ける(最大約9°)
- 下に向ける(最大約3°)



⚠️ 注意

- 運転中の調整はしないでください。やけどの恐れがあります。

● ご使用方法

運転する(自動運転)-自動的に人感センサーが作動します



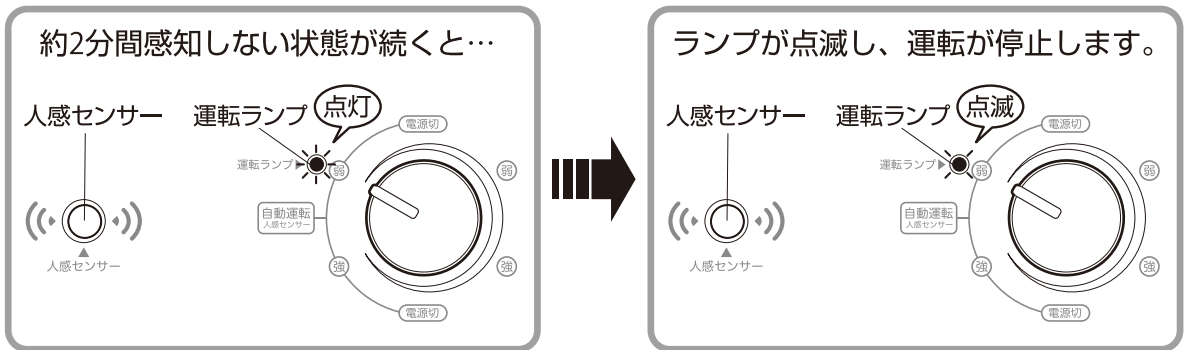
●人感センサーに直射日光があたると誤作動をおこす場合があります。
センサーに直射日光の当たる場所では使用しないでください。

■ 人感センサーについて

人感センサーは、人の動きを感知して、自動的に運転・停止をおこないます。

※人感センサーが連続で約2分間、人を完治しないと送風運転(約20秒)し運転を停止します。(運転ランプが赤色点滅します)

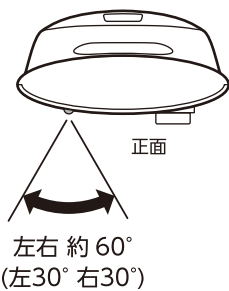
その後、人感センサーが人を感知すると運転が再開されます。



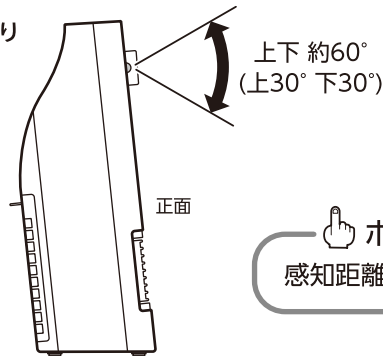
●人感センサーの感知範囲

※感知の範囲以内で連続的に感知される場合は、運転時間が延長されます。

上部より



側面より



👉 ポイント

感知距離は、約2m以内です

●人感センサーの特性上、下記のような場所では動作しなかったり誤動作する場合があります。

- ※カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
- ※センサーや感知範囲に直射日光があたる場所
- ※加湿器やエアコンなどの送風を受ける場所

●人がいても、ゆっくりとした動きや早い動き、小さい動き、じっとしている時などには人感センサーは感知しません。

●人以外のペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

○ お手入れと保管方法

警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・感電や事故の原因になります。
- 運転中と運転直後の温風吹出口は高温になっていますので、さわらないでください。
 - ・火災ややけどの原因になります。

■ 本体と人感センサーのお手入れ

本体の汚れは柔らかい布をぬるま湯か薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。そのあと乾いた布で拭いてください。

- シンナーやベンジン、アルコールなどでお手入れはしないでください。
- お手入れの後は、本体が乾いてからご使用ください。

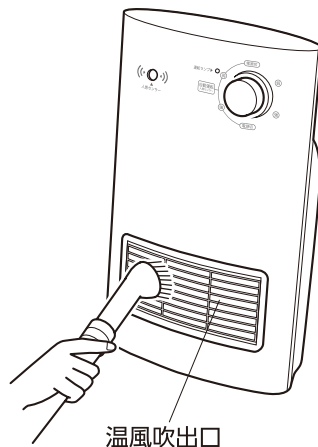


■ 温風吹出口のお手入れ

細かいところにたまったホコリなどは、掃除機で吸い取ってください。

ポイント

長期間のご使用にともない、吹出口付近の色が変色することがありますが、ご使用上に支障はありません。



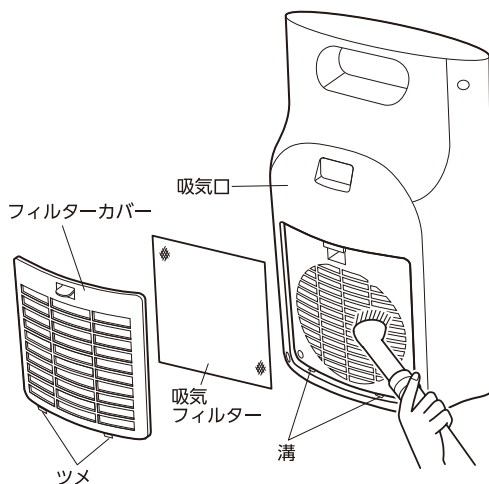
■ 吸気口や吸気フィルターのお手入れ

- ① フィルターカバーの上部を手前に引いて取り外します。
- ② 取り外したフィルターカバーと吸気フィルターのホコリを、掃除機などを使って吸い取ります。
- ③ お手入れが終わったら、逆の手順でフィルターカバーと吸気フィルターを装着します。

- ※ フィルターカバーを取り付けるときは、下部の溝にツメをしっかりと差し込んでから上部を押さえてください。
- ※ フィルターカバー、吸気フィルターを外した状態で運転はしないでください。

ポイント

本機の性能を維持するため、2週間に1回は、お手入れを行なってください。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記内容をご確認ください。

症 状	考えられる原因	処 理
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントに接続してください。
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●運転切替スイッチが[切]になっている。 ●安定した水平な場所に置かれていない。 (転倒時自動オフスイッチが働いている) ●人の動きがない状態で人感センサー自動運転が働いている。 ●内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントに接続して、運転切替スイッチを[強]または[弱]にしてください。 ●安定した平らな床面でお使いください。 ●人感センサーに動きを感知させるか、連続運転に切り替えてください。 ●連続運転で本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。
温風がでない	<ul style="list-style-type: none"> ●吸気フィルターがほこりなどで汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●吸気フィルターを掃除してください。フィルターカバーをしっかりと取り付けてください。
音がうるさい	<ul style="list-style-type: none"> ●安定した水平な場所に置かれていない。 ●吸気フィルターがほこりなどで汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●安定した平らな床面でお使いください。 ●吸気フィルターを掃除してください。フィルターカバーをしっかりと取り付けてください。
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> ●はじめて運転をしたため。 ●吸気フィルターが汚れている。 ●吸気口または温風吹出口が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●はじめてご使用になる時は、製品の塗装のにおいや煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になくなります。 ●吸気フィルターは定期的にお手入れしてご使用ください。 ●吸気口または温風吹出口を掃除してください。
人感センサーが感知しない	<ul style="list-style-type: none"> ●人感センサー部分が汚れている。 ●直射日光が当たっている。 ●人感センサーの感知範囲を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センサー部分の汚れを取ってください。 ●直射日光の当たらない場所でお使いください。 ●センサー感知範囲でお使いください。 (上下60° 左右60° 感知距離2m以内)

※上記の点検を行っても異常がある場合は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

○ 主な仕様

本体寸法(約)	幅：215 × 高：347 × 奥：138 mm
本体質量(約)	1.4kg
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力(約)	1200W / 800W
電源コード長(約)	1800mm
機 能	温風切替：強／弱（2段階） 転倒時自動オフ 人体感知（自動運転）
人感センサー感知範囲(約)	上下 60°、左右 60°
人感センサー感知距離(約)	2m 以内
安全装置	温度ヒューズ サーモスタット 転倒時自動オフスイッチ
本体材質	ABS、PBT+ グラスファイバー

※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございます。

○ 別売品について

別売品：吸気フィルター

破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由で別売品をお求めのお客様のために「吸気フィルター」を販売しております。お求めの際は下記までお問合せください。

【株式会社クマザキエイム】 TEL：045-473-0002 【直販サイト】 <http://www.bearmax.jp>